

講義名	地方財政論			授業形態	
担当教員	三原 裕子	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

### 主題と概要

【目的】  
日本は現在、人口減少の局面を迎えており、過疎化を迎える地域、消滅の可能性のある地域、富める地域、そうではない地域と様々である。それに際して、地方はそれぞれの財政により地域住民の暮らしに欠かすことのできない公共財やサービスの提供を行っているため、地域間での格差が存在してしまう。そんな中、地域独自に地域創生を目指すとしても、地域財政は国からの補助を受けることがあり、非常に複雑なもので運営されているのが現実である。  
本講義では、国からの補助金のあり方や国と地方の政府間の関係のあり方等について、財政の歴史や制度を踏まえながら、地域財政への理解を深めることを目的とする。

【内容】  
前半：財政の歴史、制度についての理解を深める。  
後半：前半の内容を踏まえて、地方の役割や政府間の関係について財政を意識しながら理論的な考察を行う。

【意義】  
本講義は、現代社会の諸問題を発見、課題の解決の提案が出来るための理論的な思考を鍛えるところに意義がある。

### 到達目標

- (1) 経済学の基礎的な知識を身につけ、理論的に物事を判断できる力を養うことができる。
- (2) 地域が抱える諸問題について、財政面から分析、評価できるようになるための知識を身につけることができる。
- (3) 地方財政および地方公共財の性質を理解することで、中央政府と地方政府の役割について理解できる。
- (4) 新聞記事を読み、自分自身で政策の効果の評価するための知識を身につけることができる。

### 提出課題

課題については講義中およびRyuka Portalの講義連絡にて適宜指示をする。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

小テストや課題は次回の講義始めに解説を行う。

### 評価の基準

課題（小テストを含む）50%、学期末試験50%により評価する。

### 履修にあたっての注意・助言他

受講生の理解度に応じて、授業の内容・進め具合を変更する場合があります。  
授業では一次復習、方算など必要最低限の数学を多指します。  
この科目の到達目標の実現のために、毎回出席し、課題を提出してください。  
Ryuka Portalの講義連絡等をしっかり確認してください。  
講義中の録音/録画/撮影は原則禁止します。ただし、やむを得ない事情等により、事前に申し出た場合に限りほかの受講生の妨げにならない範囲で許可します。

### 教科書

.使用しない。

### 参考図書

.日本の地方財政.	神野直彦、小西砂千夫	有斐閣	2020	9784641165755
.地方財政論.	持田信樹	東京大学出版会	3080	9784130421409
.財政学.	宮澤和俊、焼田莞	新世社	2750	9784883842971

### その他

レジュメ等はRyuka Portal講義連絡を用いて配信しますので、各自ダウンロードなどして準備をして下さい。

### 授業計画

1. イントロダクション：地方財政とは
2. 財政について（前半）
3. 財政について（後半）
4. 政府の分類と地方自治について
5. 地方財政の機能
6. 地方自治体の予算・決算（前半）
7. 地方自治体の予算・決算（後半）
8. ゲーム理論の基礎
9. ゲーム理論：囚人のジレンマ
10. 租税競争（現状の整理）
11. 課税競争(ゲーム理論を用いた理論的考察)
12. 余剰分析
13. 分権化整理(現状の整理)
14. 分権化整理(理論的考察)
15. まとめ

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・各回の授業内容について、資料をまとめるなど復習を90分程度で行ってください（特に重要な箇所は授業中に指示します）。
- ・次回の授業内容についての予習を配布資料を用いて60分程度で行ってください。
- ・授業中に課された課題等について90分程度で行ってください。

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

目標(1)、(3)を達成することで共通DPに貢献できる。  
経済学の基礎的な知識を身につけ、地方財政の性質を理解することにより、人間、社会、自然に関する学問的成果の基礎を身につけることができる。これを通じて、現代社会の諸問題を発見、課題の解決の提案が出来るようになる。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

アンケート、小テスト、課題などの回収をクリック（Respon）にて行うことがある。

### 実務経験の有無及び活用

### 備考